

こころざし

笑顔 チャレンジ ありがとう

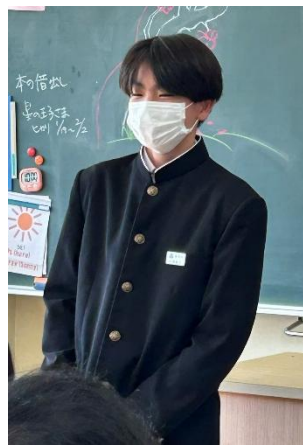
立志式

12月18日（木）に、2年生の立志式が行われたのを皮切りに、1月22日（木）には特別支援学級の立志式、1月29日（木）には、日本語指導教室に通う生徒も立志式を行いました。

中学2年生（数えて15歳）は、昔から「元服」にあたる年齢で、大人への入り口とされてきました。立志式は、その伝統を現代風に受け継ぎ、「自分はどんな人になりたいのか」「どんな未来をつくりたいのか」を、初めて本格的に考える場です。目標や“こころざし”は心の中だけにあると曖昧になりがちです。

立志式では、作文や宣言を通して「自分はこう生きる」と周りに伝えることで、責任感や覚悟が生まれます。義務や責任が増えていく年齢に向けて、自分の行動が未来をつくるという意識を持つことが目的の一つです。

実際の立志式では、一人一人が自分の未来に向けて真剣に決意を述べる姿が見られました。自らの言葉で思いを語る表情には、これまでの成長と、これから歩み出す力強さが感じられました。その姿は、中学生としての自覚と成長を示す大変頼もしいものでした。今後も、その志を胸に、よりよい自分をめざして歩みを進めてほしいと願っています。



私立入試が終わりました

2月3日(火)・4日(水)に私立入試がありました。私立入試を終え、3年生にとっては、ようやく一息つけた人も多いと思います。緊張の続いた日々を乗り越えた自分を、まずは労ってあげてください。

今回の入試を通して「できたこと」「もう少し頑張りたいこと」が見えてきた人もいるはずです。その気づきは、これからの学びにきっと役立ちます。焦らず、自分のペースで進んでいきましょう。

一方で、3年生の中にはまだ公立高校入試を控えている人がいます。気持ちをゆっくり整えながら、次のステップに向けて少しずつ準備を進めていきましょう。生活リズムを整えたり、体調をしっかりと管理したりすることも、大切な勉強の一つです。

受験は団体戦とよく言われます。集中できる教室、励まし合える友人、質問できる先生。こうした環境は自分一人では作れません。ぜひ、チーム榛中、チーム3年で、乗り切ってください。がんばれ、榛中生！！



3学期定着度テスト

2月12日(木)に、今年度最後の定着度テストが行われました。みなさん手ごたえはいかがでしょう。1・2年生は、来年度につながる学びになるように、きちんと振り返りを行い、ステップアップを図りたいものですね。3年生にとっては、中学校生活3年間の学習の集大成でした。ぜひ新たなステージでの礎となるよう、学習内容を定着させてください。

今年もボランティア活動にご尽力いただき

ありがとうございました

令和7年度も、多くの方にボランティアとして参加していただき、生徒たちの学習環境を整えていただきました。

- 学校敷地内の草刈り…仁田友仁会の方々
- 放課後学習へのサポート…伊故海芳則さん、山崎泰さん、米田敦子さん
伊故海みどりさん、山本朋代さん
- 実用英語検定試験監督…伊故海芳則さん、山崎泰さん、米田敦子さん
鈴木寿夫さん、大井敏道さん、山本朋代さん
横田多聞さん
- 草刈り後の整地…須藤康則さん

多くの方の御協力のおかげで、今年度も充実した教育の推進を図ることができました。本当にありがとうございました。